

2023 年度事業計画

(1) 全般の取り組み

世界的なコロナの蔓延は、いよいよサプライチェーンへも大きな影響を及ぼす中、ウクライナ戦争の勃発、急激な円安など思いもしなかった事態が発生しております。2023 年度も様々な変動が起きるかもしれない中、日本の抱える「労働人口減」というマイナス影響への対処を行っていかなくてはなりません。正に VUCA と呼ばれる状況であり、Disruption の進行していく世の中なのだと考えます。

この様な環境の中、どう対処してゆくのか? といえば、その基本は、広く意見を集め、しっかり議論して、自らの進むべき途を見極めていく事に尽きるのではないのでしょうか? その為に、発信できる人材の育成・組織風土の醸成であり、自社の枠を越えて議論できるような“場”を持てることの大切さが一層増してきていると考えます。

そこで引き続き「Disruption への対応」をメインテーマに掲げ、『これから』についての様々な議論を戦わせることができる“場”作りに注力してゆきたいと思っております。これを通して、具体的対処施策、新時代を担う人材の育成、レガシーな組織の変革に寄与してゆくべく努めてまいります。特に、既存のビジネスを視点を変えて変革を推進していくことにも集中していくと共に、新商品・新サービスの取り組み事例から新しい視点の創造についてもアカデミーを通じた研究を続けてゆきます。特にコロナの第 5 類感染症への変更をふまえ、これから対面活動を活発化して活動してゆきます。

重点施策

- 1 組織風土変革・DX 人材育成
- 2 ビジネスプロセス生産性の向上
- 3 協会の基盤強化

以下、内容をご説明いたします。

重点施策

1. 組織風土変革・DX 人材育成

- (1) 研究会、アカデミーでの議論の一層の活発化、これを通しての Disruption 対応研究への寄与

- ・Disruption にどう対応していくのか? DX をどう推進していくのか? の観点から、「これから」について活発に議論を展開していく内容としてゆきます。
- ・また個別の内容対応を考え、参加者に寄り添ったコーチング、個別コンシェルジェなど新しい活動形態も検討していきます。

- (2) 協会ならではの特色あるプログラムの中より、個々の企業に合わせて提供し、DX を推進する人材の育成を図っていきます

- ・企業向け研修
メニューの中から各企業ごとのニーズに合った研修を選択いただき、各層のレベルアップ、管理技術の習得、組織能力アップなどをポートしてゆきます。
- ・リスクリング研修
『これから』も活躍していける個人としての力を備えることに寄与できる研修メニューを提供してゆきます

- (3) デザインポートセンター構想

特に Disruption (破壊的創造) 対応に向け、ビジネスをリフォーム、或いはプロデュース出来る人材の育成について以下の施策を継続してゆきます

- BtoB として研究会活動
 - ・企業家マインドの育成を目指した研究会、セミナーの提供
 - ・ビジネスを再デザインする人材育成を目指す「ビジネス・

- デザイン・スクール」の実施
- BtoC としてコラボ環境
- ・参加された方々とコラボできる場 “トレビア・クラブハウス “の一層の活性化
 - ・ネットを活用した、協会活動のアピール
 - ・同じ課題を持った有識者・団体との共同研究活動
学会, ITHRD、JISA など他の協会活動と協調し推進してゆきます

2. ビジネスプロセス生産性の向上

(1) 企業サポート

多様な変革する中、企業における悩み・困り事への対処を客観的な視点で、未来の目標と一緒に描いていくことをサポートしてゆくサービスを広めてゆきます。(企業診断、目標設定、サービスデザイン、バックキャスト思考など)

(2) 事業受託 国、協会よりの調査・研究業務の受託

Disruption を乗り越えて行く上で必要となる要件など、協会の持てる知見を活かした調査・研究の受託によりより広く協会の考えを広めていきます。具体的には以下の内容を継続検討していきます。

- ・ Transformation 手法など右脳型発想に基づく経営改革手法の追究
- ・ 企画、開発、利用運用の全フェーズを通じたプロジェクトのリスク管理システム (AI も利用)
- ・ CO2 削減のアクションと効果の関係を明確にする CO2 の計測システムの開発

(3) エグゼクティブ・ビジネス海外研修の実施

カリフォルニア州立工科大学ポモナ校での現地の先行企業の経営経験者とのディスカッションを通して、WEB 時代のマーケティングを含めたコロナ期でも強い米国社会の現状を探ります。そして Disruption (破壊的創造) に対応していく DX 人材の育成促進につなげていきます。

3. 協会の基盤強化

会員拡大、分科会活動について、注力してまいります

- (1) ホームページ、セミナー企画を通して、ABC 協会の活動を発信し、コンタクトを得ていきます
- (2) ABC 協会会員を中心としたご紹介による会員拡大を強化していきます